



# トヨタ エスティマ エスティマ ハイブリッド

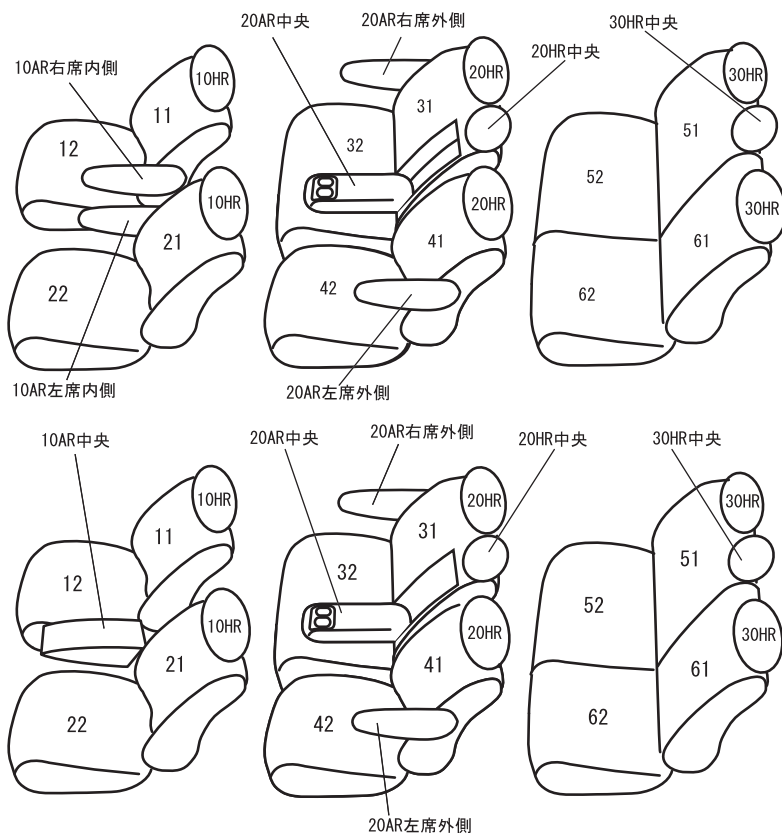
## 専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難う  
ございます。

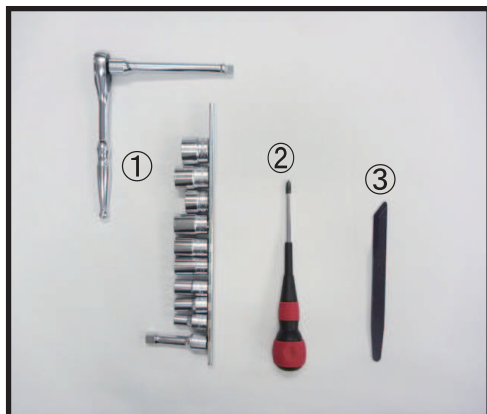
- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する  
注意事項等が記載されていますので、装着前に必ず  
お読み下さい。

1538/1539/1540

# 本製品シート形状とパーツの名称



## 取り付け使用工具



### 道具名

- ① ソケットレンチセット
- ② プラスドライバー
- ③ ヘラ（付属）

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

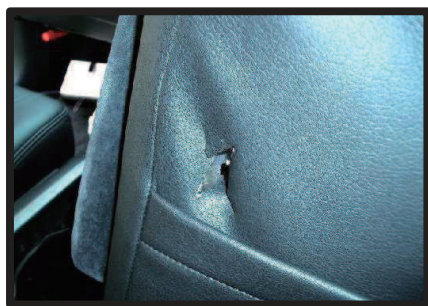
**TEL 072-330-8000**

# コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

# 1 列目座面(手動、電動シート共通)



①座席裏側の下に付いているカバーを外します。座面の下にゴムがプラスチック部品で固定されているので、前に押し出すようにして外します。



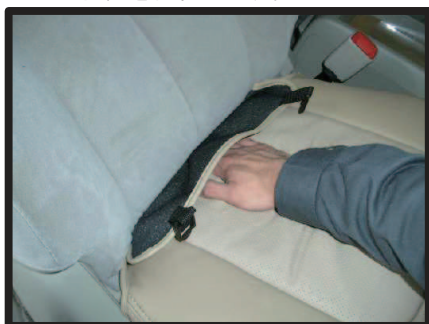
④電動シートの場合は座席の背面下部(①で外した純正カバーの裏)に配線のコードがあります。③で入れ込んだ部分を引き抜く際に触れますのでカバーの穴部でかわします。



②座面シートカバーを裏返しておき、シートのラインに合わせてからかぶせていきます。シートリフター付きの場合は側面のダイヤル部に切れ込みの位置を合わせます。



⑤座席の後方から③で入れ込んだ部分を引き出します。



③座面と背もたれの間座面後部にあたるカバーの部分を入れ込みます。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい位置で行なって下さい。



⑥座面側面のカバーに付いているプラスチック部品を、シートのプラスチックカバーの中に入れ込みます。この際、指で入れにくい場合はヘラのようなものをご利用下さい。



⑦座面前方下のカバーにベルトが付いています。電動シートの場合はプラスチックカバーの内側にベルトを通して下さい。ベルトはシートを前後させながら座席後方に回します。



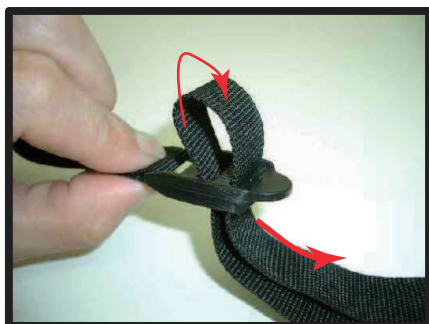
⑩ベルトを固定するとこのようになります。



⑧ベルトを座席後方下から取り出し、写真○印のバックルにて固定します。



⑪運転席側座面の完成です。  
助手席側も同様に取り付けます。  
①で外したカバーは背もたれカバーを取り付けるまでそのままにしておきます。



⑨ベルトは、図のようにバックルを通して、引っ張ることで固定します。

# 1 列目背もたれ

座面カバーを取り付けた後に  
背もたれカバーの取り付けを行って下さい。



ハイブリッド車は①②の作業は必要ありません  
①アームレストを取り外します。側面の丸いプラスチックカバーを内張りをはがし等で外して下さい。隙間に入れ込み、軽く引くと外れます。



②アームレストを固定しているボルトを外します。ソケットレンチ等でボルトを反時計回りに緩め、アームレスト本体を外します。



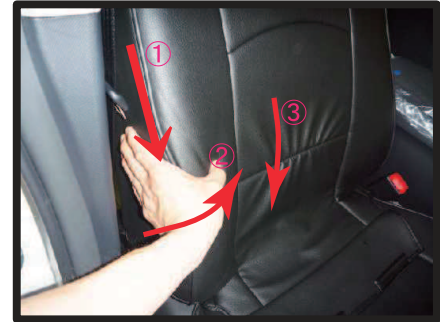
③ヘッドレストを外し背もたれカバーをかぶせます。カバーを半分ほどで折り返し、ラインを合わせて左右均等に引き下げしていきます。



④肩の部分までしっかりと入れ込んで下さい。



⑤ヘッドレストの台座を穴から取り出します。まず台座の半分をしっかりと入れ込み、生地伸びを利用して横から潜り込まずように取り出します。



⑥カバー全体を引き下げたら、たるみがないか確認して下さい。①～③の順番にカバーをなで下ろして、シートに密着させるようにシワをなくしていきます。





⑦ 背もたれと座面の間にシートカバーを入れ込み、背もたれ裏側から引き出します。



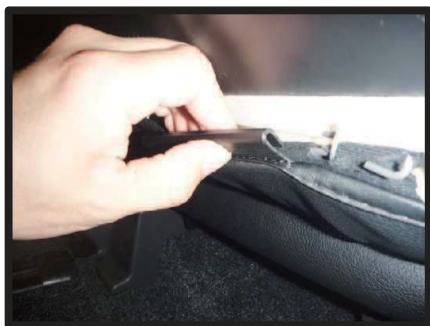
⑩ フックは図のように固定されます。1ページ①で外した部分を元通りに戻します。



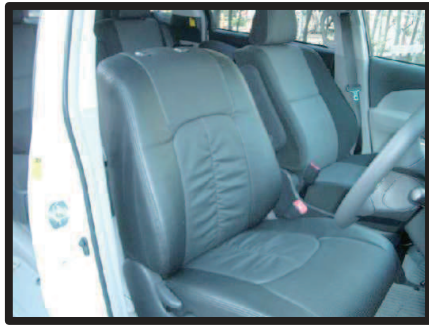
⑧ 1ページ①で外した背面下の純正カバーをめくり上げると、黒い生地に針金を通した部分があります。



⑪ 背もたれ背面の一番下にゴムが付いていますので、そこに付属のS字フックを取り付けます。S字フックを座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。

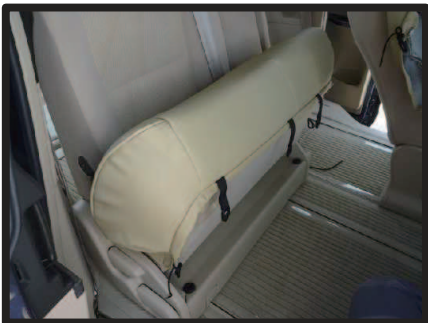


⑨ ⑦で引き出した生地に付いているフックを、図のようにして⑧の針金が入った生地に引っ掛け固定します。



⑫ ラインを整え運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

## 2 列目座面



①座面を半分ほど跳ね上げ、シートカバーを前側からかぶせていきます。



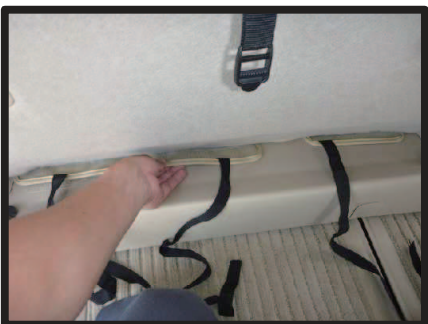
④カバー前後のベルトを固定します。



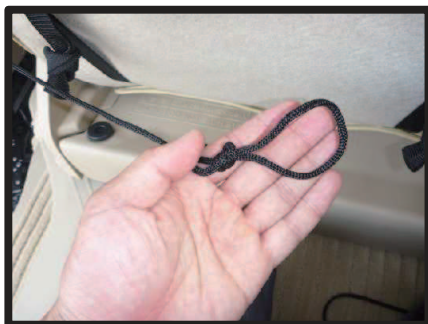
②座面と背もたれの間にかバーを入れ込みます。ベルトが付いているので一緒に入れ込んで下さい。



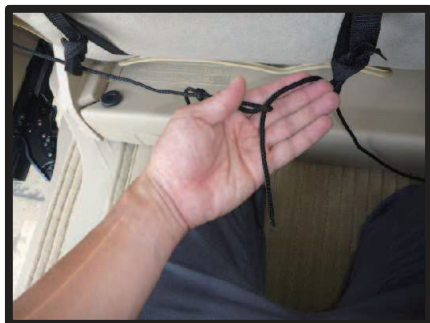
⑤1列目座面同様にベルトを固定して下さい。



③座面を引き起こし入れ込んだカバー部分とベルトを引き出します。カバーはマジックテープでシート自体に固定出来ますのでシワがよらないよう固定して下さい。



⑥カバー側面から出ているヒモの片方で輪を作りします。



⑦もう片方のヒモを作った輪に通します。



⑩座面を跳ね上げて、外側面の付け根辺りの生地を、直接シートに貼り付けて固定します。

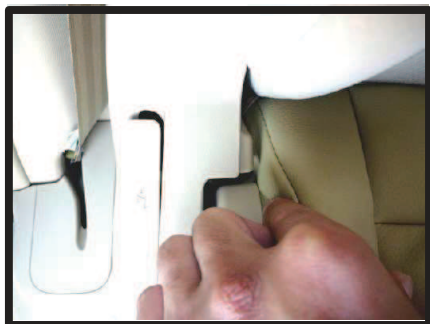


⑧通したヒモを引くことで座面下回りが締まります。締まった状態でヒモを結び留めます。



生地を入れ込む部分

⑪内側面も同様にシートに貼り付けて固定します。一部カバーをシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます



⑨座面付け根部分に生地を入れ込みます。



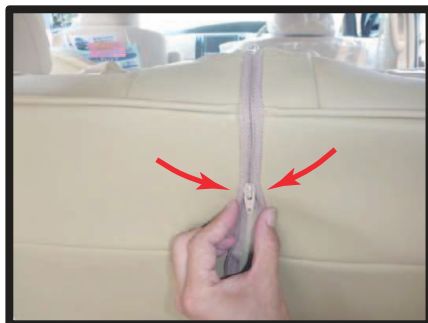
⑫ラインを整え2列目運転席側座面の完成です。

助手席側は一部形状は異なりますが同様に取り付けます。

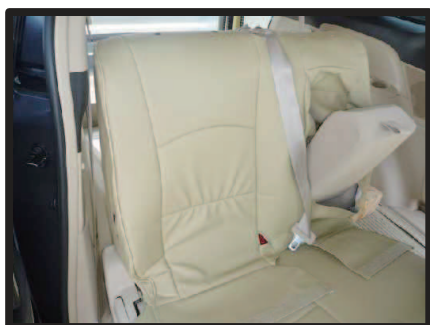
## 2列目背もたれ



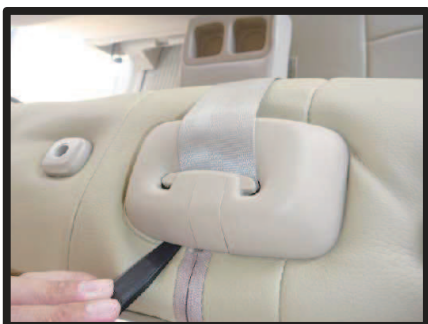
①カバー背面のファスナーを開けた状態で、中央のシートベルトの間を通します。



④生地を内へ寄せながら背面のファスナーを閉じます。



②加工穴からアームレストを取り出してシートラインに合わせてみます。



⑤中央のシートベルトが出ているプラスチック部の隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



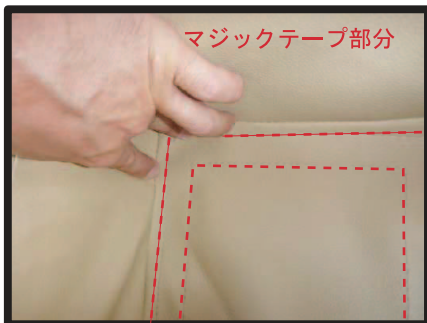
③ヘッドレストの台座を取り出します。



⑥プラスチック部は図のようになります。



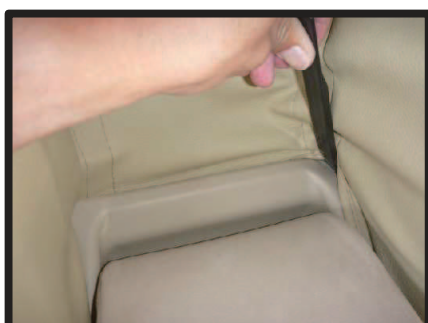
⑦背もたれと座面の間にカバーを入れ込みます。



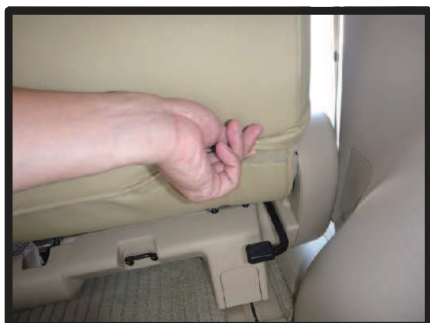
⑩アームレストの収納部分です。生地  
のシワを伸ばしながら、生地裏のマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



⑧シート背面から生地を引き出します。



⑪アームレスト付け根のプラスチック部の隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



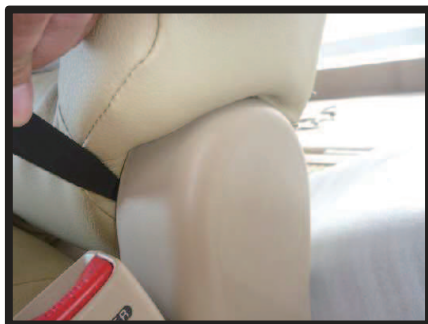
⑨引き出した生地とカバー背面下をマジックテープで固定します。



⑫アームレスト収納部は図のようになります。カバーを全て装着後、アームレストをきっちり収納した状態にしておけば、生地がシートに馴染みやすくなります。



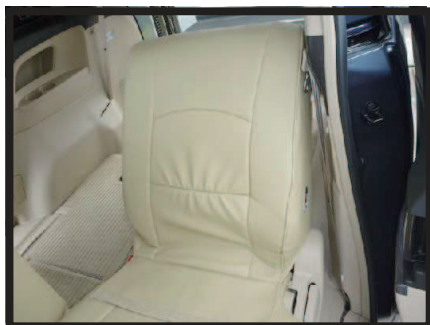
⑬アームレストの付け根部分の角に、生地を入れ込みます。



⑭背もたれの付け根部分にも生地を入れ込みます。



⑮アームレスト下の生地には固定が無いので生地が浮くことがあります。生地の浮きを押さえる対策案として生地裏に両面テープを貼ります。



⑯助手席側はシートのラインに合わせてかぶせます。



⑰両面テープで生地を固定すれば、アームレストを動かしても生地が浮かず、よりきれいに固定されます。

※カバーを外した際にシート表皮に粘着剤が残る可能性があります。作業をされる場合は、予めご理解頂いた上で作業を行なって下さい。



⑱背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シート背面でマジックテープで固定します。

※2列目背もたれの完成図は10ページ⑥をご覧ください。

## 2列目センターアームレスト



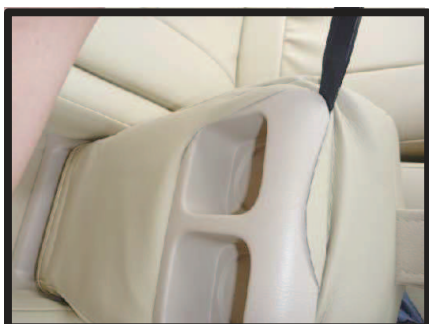
①アームレストを前に倒して、アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。



④引き出した生地をマジックテープで固定します。



②アームレストの下の付け根部分の隙間から、生地を入れ込みます。生地を入れ込むコツとして、図のようにアームレスト下に手を入れて、アームレストを倒す起すを繰り返して行なっていくと生地が入り込んでいきます。



⑤ドリンクホルダーのプラスチック部のフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



③入れ込んだ生地をアームレストを倒して引き出します。

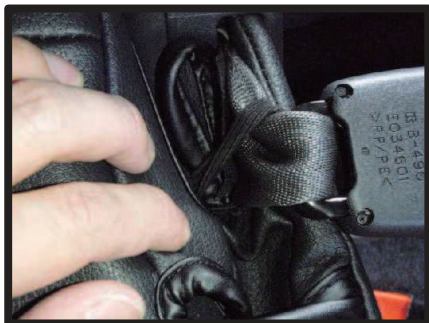


⑥カバーのラインを整えて、2列目センターアームレストの完成です。

### 3 列目座面



- ①シートカバーを裏返しておき、シートのラインに合わせておきます。



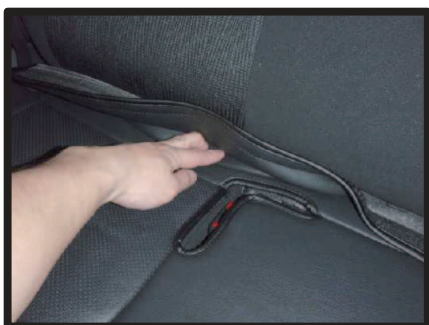
- ④シートベルトの留め具と座面の間に生地を入れ込みます。  
※留め具のゴムは外しません。



- ②シートのラインからずれないようにかぶせていきます。



- ⑤シートベルトの留め具を収納し、カバー側面の生地を座面のプラスチック部に入れ込みます。

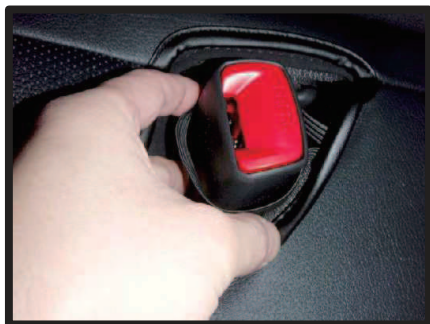


- ③座面と背もたれ間に座面後部にあたるカバーの部分を入れ込みます。

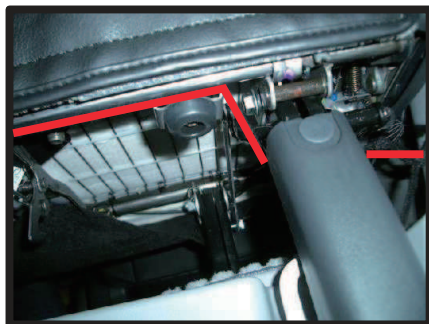


- ⑥運転席側座面のシートベルト収納部のカバーには、図のようにゴムが付いています。





⑦図のように、ゴムをシートベルト留め具に引っ掛けます。ゴムは留め具の付け根まで押し込んで下さい。



⑩図は車の後ろから座面裏側を見た場合です。ヒモを赤い線で記した位置に通します。



⑧ゴムをシートベルトの留め具に引っ掛け押し込むことで、図のように生地のを浮きを抑えることができます。



⑪⑩で通したヒモをループ状のベルトに通し、図のように固定します。



⑨カバー両側面のヒモを座面下部を通し、後ろ側へ回します。



⑩ラインを整え3列目座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

### 3列目背もたれ

写真は別タイプのもので、実際にはセンターアームレストはありません。



①シートカバーを半分ほどで裏返しライニングを合わせかぶせていきます。



④座席後方に回り③で入れ込んだ部分を引き出して、背もたれ背面(→の部分)にマジックテープで固定します。



②矢印部分からリクライニング用レバーを取り出します。



⑤背もたれカバー裏側をマジックテープで固定します。



③背もたれと座面の間にシートカバーを入れ込みます。



⑥座席の背面にはシートを持ち上げる際に使うレバーがあります。そのプラスチックカバーをドライバーを使って外します。



- ⑦シートカバーの生地をプラスチックカバーの内に収まるようにします。生地がはみ出していないかを確認しプラスチックカバーを元の通り付け直します。



- ⑧ラインを整え、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

# 1、2列目アームレスト



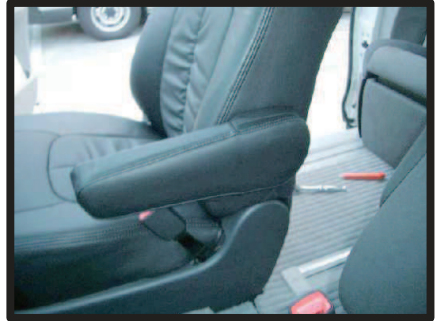
①ラインを合わせ先までしっかり入れ込みます。



④アームレストがシートにしっかり固定出来たことを確認しファスナーを閉めていきます。



②アームレストはシートから外した状態でファスナーをゆっくり閉めていきます。いったん閉めたファスナーを開けボルトを差し込む方のカバーを外します。



⑤ラインを整えアームレストの完成です。  
1列目2列目ともに同様に取り付けます。

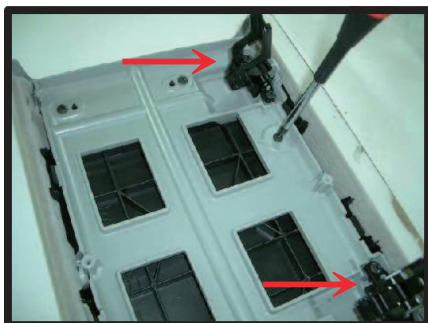


③②の状態のままアームレストを内側のツメとシート本体側とをきっちり合わせてシートに取り付けます。ボルトを締めたら丸いプラスチックのカバーをはめます。

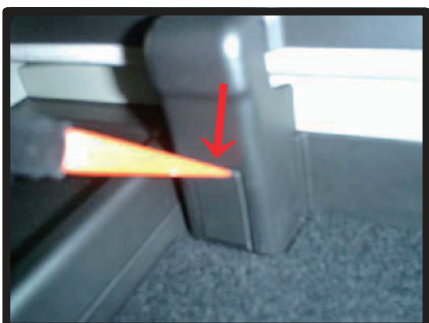
# ハイブリッド用 1列目センターコンソール



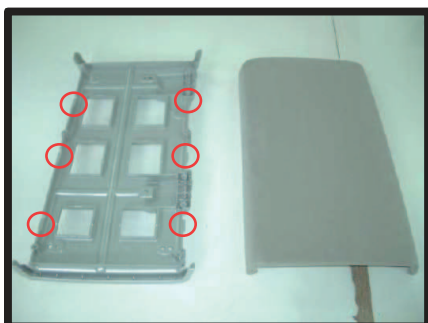
①コンソールのフタを開けます。  
始めに、図の丸印の箇所のプラスチックカバーを取り外します。



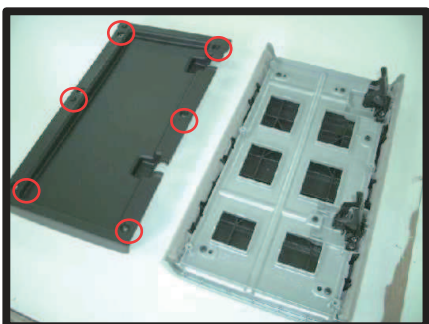
④内フタを外すと、フタの裏側にネジがありますので、これも外していきます。さらに、矢印部分の固定金具も外します。



②プラスチックカバーの矢印の箇所にある凹みに、ヘラ等を差し込み、フタを開きます。中のネジを外すとカバーが外れるようになるので、さらに中のネジも外します。



⑤ネジを全て外し、ツメで固定されている箇所（図の丸印）を外すと、図のように2つのパーツに別れます。図の右側のパーツに、コンソール用カバー（生地）を貼り付けます。



③コンソールからフタ部分を取り外し裏返して丸印のネジを6ヶ所外すと図のように内フタが分離できるようになります。



⑥本体の裏側へ生地を巻き付け、図の丸印にあるツメ部へ引っ掛けるようにし、固定します。  
※市販の両面テープ等で固定すると作業がしやすくなります。

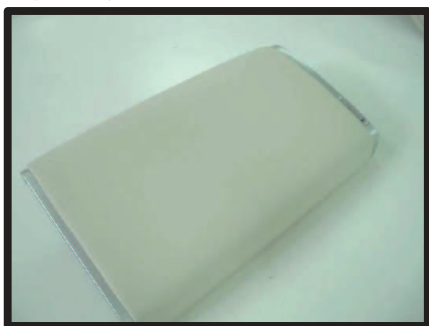
## ハイブリッド用 1列目センターコンソールの続き



⑦ 4 辺の生地を巻き付けると、図の丸印のように、角に生地が余りますが、内ボタンを取り付ける際に、生地を挟み込む事で収まります。



⑧ ⑤で取り外したパーツを元に戻していきます。アームレスト固定用金具も取り付けておきます。（この時、角に余っている生地は、そのままの状態です）



⑨ ⑤で取り外した内ボタンを元に戻します。（内ボタンを取り付ける際に、余った生地を挟み込みます）アームレストのフタを本体に取り付け、完成です。

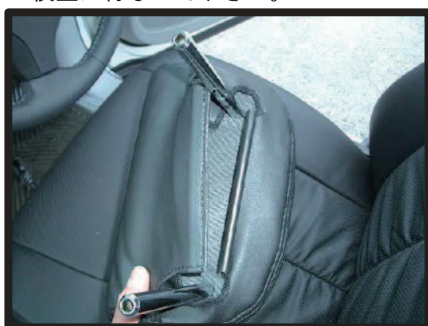
## ヘッドレスト



① ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。ラインを合わせてからかぶせて下さい。



② ヘッドレスト本体に揉み込むようにカバーを入れ込んでいきます。縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。



③ ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーをかぶせます。



④プラスチックフックで固定します。



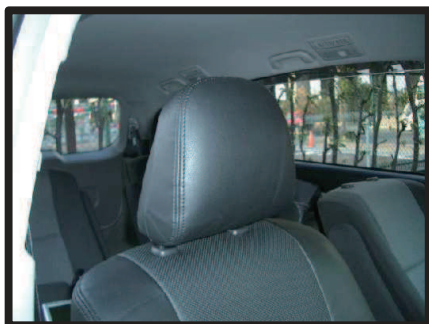
⑦3列目ヘッドレストは下部分からカバーを入れ込んでいきます。



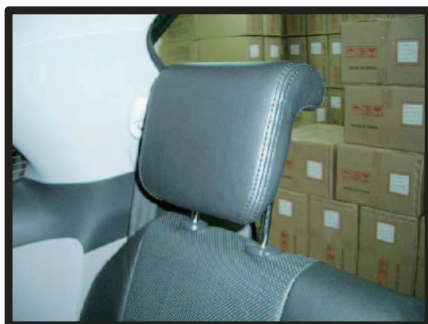
⑤平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフック部に入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



⑧ヘッドレスト本体の後ろ側を圧縮しながら全体を入れ込みます。カバーの位置を調整してから、1列目と同様にプラスチックフックで固定します。



⑥ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。  
2列目ヘッドレストも同様に取り付けます。



⑨ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。  
2、3列目センターヘッドレストも形状は異なりますが、同様に取り付けます。

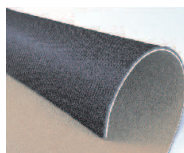


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**



## …> 生地別メンテナンス方法

### クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

#### ウルトラセード

##### ● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

##### ● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



#### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

##### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



#### PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

